

流山市市民参加推進委員会の評価シート

対象事業名	流山市地域支え合い活動推進条例
担当課	社会福祉課

① 市民参加の方法の選択について

災害時のみならず、高齢化に伴う相互扶助を支持するため名簿作成は必要であると思うが、個人情報との関連から、目的や意義、取り扱いなどについて十分な審議、内容の開示、意見の募集は重要なことであり、審議会、パブリックコメント、意見交換会によって市民参加を促進したことは評価できる。

《各委員からの意見》

- ・ 審議会とパブリックコメントだけでなく、直接市民の声を聴くことができる意見交換会を設けるなど、市民の声をすいあげるための手法を選択していると思う。また、自治会懇談会など、実際に条例に関わってくる人を集め、意見聴取に努めたことは評価する。
- ・ 審議会、タウンミーティングやパブリックコメントなど様々な手法で市民参加の機会を設けたことは評価する。特に自治会懇談会を巻き込んでいる点が評価できる。
- ・ 実態調査を行い、市民参加を推進するための意見交換会を増やすことが必要であるという考え方が希薄であったと思われる。

② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

審議会の進め方及びパブリックコメントの期間中にタウンミーティングを開催するなどのスケジュールの進め方は、効率的であり相乗効果と合わせ大いに適切と評価する。

《各委員からの意見》

- ・ タウンミーティングとパブリックコメントを同時期に行い、短期間で効率よく意見を聴取できたと思う。ただし、タウンミーティングの開催告知が短いのではないかと。
- ・ スケジュールは議会へ諮る事を考慮して、もう少し前倒しに行った方が良かったのではないかと。
- ・ より多くの方法で市民に告知、閲覧、参加できる方法をとっている点は高く評価する。その効果が、タウンミーティングの参加人数や意見の件数が多く感じられる。
- ・ パブリックコメントの実施中にタウンミーティングを実施されている事が功を奏しているのか、比較的意見をたくさん集められている。

③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

地区懇談会、自治会懇談会、その他、関連する団体の会議などに出向き、積極的に、事業内容を説明したのは大変評価できる。また、意見交換会に託児や手話通訳をつけるなど、色々な事情の市民への配慮も考えており、事業内容をより多くの人に周知できたのではないかと。

《各委員からの意見》

- ・ 要支援者の対象は高齢者が多いことから、情報内容を伝えるのには要支援者本人はもとより、要支援者を支える地域住民や組織(自治会やNPOなど)の理解と協力が得られるような情報提供の仕組み作りが必要ではないかと。
- ・ 公式の市民参加の手法以外に、関係団体への説明会、出前講座、自治会懇談会に情報提供などを実施しており評価できる
- ・ 名簿の対象になる市民以上に、その情報を提供される側の市民への説明に重きを置いて、事業をすすめられていたようにうかがえ評価できる。

④ 改善点について

《各委員からの意見》

- ・ タウンミーティングの参加者が大変多かったが、開催告知から開催日まであまり日がなかった。もっと早めに告知していたらもっと多くの人が参加できたのではないかと。市民の関心の高さがうかがえたため、なおさら気になった。
- ・ 出前講座のオーダーを待つのではなく、積極的に働きかけがあっても良かったのではないかと。
- ・ 広報紙などでの情報提供が1回の掲載のみだと見落とす恐れがあるので、できれば2回掲載はできないか検討されたい。

⑤ 当該事業の評価について

A	B	C	D
----------	----------	----------	----------